

公告 昭 24.12.9 (実公 昭 24-12009) 出願 昭 24.4.9 (実願 昭 24-4947)  
登録 昭 25.4.18 発行 昭 31.8.31

実用新案権者(考案者)	横 田 秀 雄	香川県三豊郡一ノ谷村本大1743の2
実用新案権者	大 西 謙 太郎	香川県三豊郡上高野村16の2
同	上 森 茂	香川県三豊郡上高野村18
代理人 弁理士	橋 英 二	(全1頁)

脱穀機の釘付装置

図面の略解

第1図は本案装置の斜視図、第2図は本案装置を脱穀機に取付けたる側面図にして脱穀機は断面にて示す。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は図面に示す如く金属線1を倒V字形に折曲し、其の両端部に螺糸2を刻設し、該螺糸部の上端部位の金属線を圧縮して釘3を形成し螺糸部2にナット4を螺合して成る装置の構造に係るものにして金属線の基部には其の中心線の延長が脱穀機中心線と一致するよう角度を附し釘3は脱穀機表面に密着するよう形成するものとす。

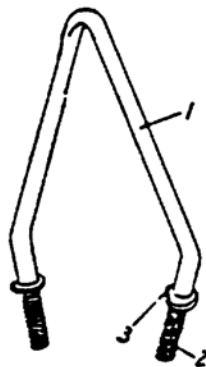
本案は螺糸部2を脱穀機5に穿らたる孔より挿入し、脱穀機下面より螺糸部にナット4を螺合するこ

とにより装置を脱穀機に取付け得るものにして、釘3は脱穀機表面に密着するを以て装置を安定せしめて動揺を防止す。而して釘は装置を構成する金属線よりプレス加工にて一体に圧出せるものなるを以て其の厚みも小にして表面平滑なり従つて、釘の部分に刃等の特付く處なく脱穀中の抵抗少きものとす。且つ構造簡單製作容易にして脱穀機に対する着脱を迅速になし得られ、其の取付堅固なる等の実用的効果を有す。

登録請求の範囲

図面に示す如く金属線1を倒V字形に折曲し、其の両端部に螺糸2を刻設し該螺糸部の上端部位の金属線を圧縮して釘3を一体に形成して成る脱穀機の釘付装置の構造。

第1図



第2図

